

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマートキッズプラス六甲		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 5日 ~ 2025年 12月 27日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2 (回答者数)	2
○従業者評価実施期間	2025年 12月 2日 ~ 2025年 12月 27日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	満足度に関する項目で全ての項目で保護者から良い評価をいただくことができていますが、児童発達支援から放課後等デイサービスへの継続したご利用に繋がっている。	放課後等デイサービスご利用児童と一緒に集団療育やおやつ等に参加をすることで、就学後を見越した支援の提供ができています。 個別課題では状況に応じて、お道具箱やおけいこ帳を活用することでより具体的な小学校のイメージがもてるようにしている。	就学時の移行の際に、小学校や特別支援学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図る機会を設けることで、関係機関と連携の上、より安心して移行していただける環境を整えていく。
2	個別支援計画に関する項目では、全ての保護者から良い評価をいただくことができています。	児童発達管理責任者が保護者と面談後、ニーズや児童の特性に応じた支援計画を作成している。 策定会議を通して職員間で共有を図ることで、支援の方向性を統一し計画に沿った支援の提供、振り返りができている。	地域の児童発達支援センターと連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設け、支援計画にも反映することで児童の発達段階に応じたより質の高い支援を提供できるようにする。
3	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や職員間で意見等を共有する機会を設けることができています。	階層別研修や虐待防止研修、感染症対策研修等に対象に応じて全職員が参加をすることができています。 業務前ミーティングや心理士相談等を通して支援や業務について話し合う時間を設けている。	法人内の研修だけでなく、自治体や相談支援事業所等が実施している研修等にも積極的に参加することで、他機関とも連携を図り、更なる資質の向上を図ることができるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日々の安全管理・清掃を徹底し清潔で心地よく過ごせる環境の維持に努めること。	毎日開室・閉室チェック表に基づき清掃は実施しているが、清掃する場所や用具が固定化されてしまっていた。	毎日の清掃チェックリストに加えて、発達支援室内の危険箇所や清掃箇所の見直し・修繕を月1回実施する。 メラニンスポンジや洗剤等を用いた清掃活動も定期的にも実施をしていく。
2	各種マニュアルや安全計画・非常時の対応について、周知方法を検討し、保護者の安心に繋がられるようにすること。	各種マニュアルや安全計画の策定を実施することはできているが、お便りでの配布となっていたため、口頭で説明する機会をしっかりと確保できていなかった。	お便りの配布に加えて、契約時やお渡し時に口頭での説明も行うようにしていく。 非常時の対応については事故・怪我発生時の具体的な対応、連絡先の確認、災害発生時の避難場所の確認等を年1回実施していくようにする。
3	家族なども参加できる研修会や情報提供の機会等を設けること。	保護者会は開催することができたが、ペアレントトレーニングや研修会のご案内を積極的に行うことはできていなかった。	引き続き年2回の保護者会の開催を実施すると共に、家族等も参加できる研修会に関して、法人内だけではなく自治体や県警機関が実施している研修等も含めて情報収集や提供を行っていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	スマートキッズプラス六甲
------	--------------

公表日 2026年3月18日

利用児童
数 2

回収数 2

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	1	0	0	1		法令上、必要な基準員に加えて児童指導員、専門的支援職員等を配置し、手厚い支援が実施できるよう体制を整えている。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1	0	1	0	・参加した日の靴下がかなり黒くなります。原因はわかりませんが、少し心配になります	床が白く汚れが付きやすい面もあるが、清掃方法を工夫することで安心して過ごしていただけるよう努めていく。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	2	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1	0	0	1		毎月異なるテーマで5領域に応じた活動プログラムを設定している。半年間は同様の内容の活動はしないよう工夫をしている。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	0	0	1	1		事業所の特性上、地域の他の子どもと行動をする機会を設けることは難しいが、地域の作品展への出展等を通して交流を図っていきたい。
保護者へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	0	1	0	1	年に1度家族も参加できるイベントで活動報告もあり、子供の様子がわかりました。その一方でペアレントトレーニングなどに関しては支援が薄いと思います。	家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会や情報提供の機会を設けられるよう発信をしていくようにする。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	1	0	0		支援計画の更新面談時だけでなく、必要に応じて家族支援や関係機関連携が可能である旨をご案内していく。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2	0	0	0		

の説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	0	1	0	保護者会は開催することができたが、療育参観や活動報告がメインとなり保護者同士の交流の機会等を設けることはできていないため、次年度以降に検討していく。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2	0	0	0	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2	0	0	0	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2	0	0	0	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2	0	0	0	
	非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1	0	1	0
24		事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	0	1	0	月1回避難訓練を実施しているが週1回利用の児童が多く、日程が合わないこともあるため参加できなかった月にも訓練の様子をニュースレターやブログ等を通して共有できるようにする。
25		事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1	0	1	0	安全確保計画について、お便りの配布だけでなく、保護者会等の機会を通して周知できるようにする。
26		事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2	0	0	0	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	2	0	0	0	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2	0	0	0	
	29	事業所の支援に満足していますか。	2	0	0	0	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	スマートキッズプラス六甲					公表日	2026年3月18日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	発達支援室内をスペースで区切り、学習や自由時間、活動等の状況に応じた環境設定の工夫をしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	児童発達支援管理責任者と基準人員に加えて心理担当職員や児童指導員加配職員を配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	毎日の清掃業務・整理整頓をチェック表に基づいて実施している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1		構造上、完全な個別の場所を設けることは難しいが、パーティションや空いている部屋を活用することで環境設定を行っていききたい。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に繋げられるよう努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	業務前ミーティングや心理士との連携等を通して支援や業務について改善案を伝えあう機会を設けている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0		第三者からの外部評価があった際には、評価結果を業務改善に繋げられるよう努めている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	階層別研修や虐待防止研修に全職員が参加し、資質の向上を図っている。		
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0				
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0				
13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	策定会議を通して職員間で個別支援計画の共有を行い、計画に沿った支援を実施している。			
14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0				
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	法人内で統一されたアセスメントシートを活用することで確認を行っている。			

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	支援計画には子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、具体的な支援内容が記載されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	月毎に領域や担当職員を設定しているため、チームでプログラムの立案を行うことができている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	利用回数が少なくても幅広い領域の内容に取り組みるように工夫をしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	個別課題・集団療育を組み合わせさせて支援が提供できるようスケジュール時間の工夫をしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1		送迎時間や勤務時間の関係もあり、支援終了後に改まったMTGの時間を設けることはできていないが、その日の振り返りや気づいたことは都度共有するようにしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	記録の記載だけでなく、1日を通して感じた課題等については他職員に相談するよう心がけている。	
関係機関や保護者との連携	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	担当者会議が開催された場合には児童発達管理責任者が参加をしている。	児童発達支援での関係機関での会議などの機会があるのか分からない、との意見もみられた。今年度は実施できていないため、新入社員等にも関係機関連携等の機会があることを説明、保護者にもご案内できるようにしていく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1	同一法人内の他事業所に並行利用や移行をする際には、こどもの特性や保育園での状況等の情報共有を実施している。	保護者様送迎の方は園等と連携を図れていない為、状況に応じて支援内容等の情報共有と相互理解を図れるよう対応していく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	1		児童発達支援センターからご利用児童の紹介等をいただくことはあるが、スーパーバイズや助言等を受ける機会を設けることはできていないため、必要に応じて連携を図れるよう関係性の構築に努めていきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	3		事業所の特性上、地域住民を招待すること等は難しいが、自立支援協議会や子ども部会への参加、地域の作品展への出展等を通して、地域に開かれた事業運営を実施していくようにする。

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	支援計画更新時の面談時だけではなく、送迎時や連絡帳でのやり取りを通して情報共有を行い、共通理解を持てるよう務めている。		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	0		面談や家族支援は実施できているが、家族等も参加できる研修の機会や情報提供は行っていない面もある為、次年度以降に実施できるよう検討をしていく。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0			
保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者様から同意を得ている。		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	保護者会を実施することができた。多くの保護者に参加していただくことができ、定員の関係もあり2日間にわたって開催をした。		
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	相談や申し入れがあった際には職員間で共有を行い適切に対応できるよう努めている。		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	ニュースレターやブログにて利用予定や活動内容の発信を行っている。		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	鍵付き書庫を使用したり個人情報となり得るものは事務室から持ち出さないようにしたりと取り扱いには留意をしている。		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3		事業所の特性上、地域住民を招待すること等は難しいが、自立支援協議会や子ども部会への参加、地域の作品展への出展等を通して、地域に開かれた事業運営を実施していくようにする。	
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	各種マニュアルに応じた訓練を実施することができている。	
		46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・毎年BCPを作成と更新を実施して全職員で内容の確認、訓練を実施している。	
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	毎年の基本情報シートにて服薬の有無・投薬名をお伺いしている。また、状況に応じて投薬による副作用等も共有いただいている。		
48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1	契約時に書類と口頭で食物アレルギーの有無の確認を実施している。	食物アレルギーの有無について確認表を掲示しておやつ提供時等には複数名で確認をしようとしている。医師の指示書に基づいて対応していることを新入社員等も含めて全職員に共通理解が図れるようにしていく。	
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画に基づいた訓練や研修等を実施している。		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0			

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	事故や危険に繋がる事例があった際にはヒヤリハット報告書を作成し、職員間で共有を行い、再発防止に努めている。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0		